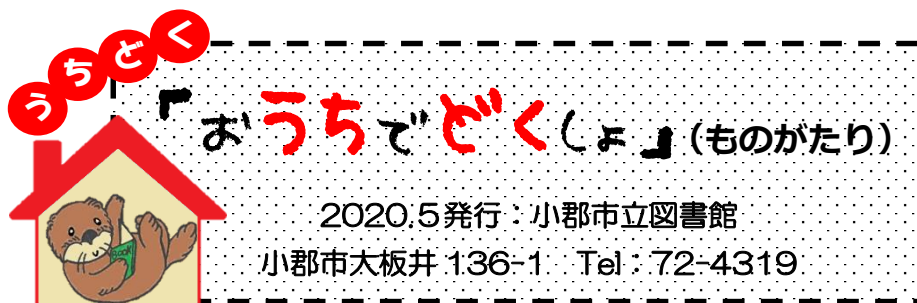




しょうがくせい 小学生のみなさんへ

しんがた 新型 ^{りゅうこう} コロナウイルスの ^{うち} 流行で、お家にいることが多くなっていることとおもいます。

こんな ^{とき} 時は、お家で本を ^{ほん} 読んでみませんか。本は、たいくつして ^{おち} いるあなたを、いろいろな ^{ところ} 所へ連れていってくれたり、あなたが知 ^し らないおもしろい ^{こと} ことや ^{やく} ふしぎな事、役 ^た に立つ事を ^{おし} 教えてくれたりします。

このプリントに、^{しりつとしょうかん} 市立図書館が ^{しょうかい} おすすめする本を紹介しています。 ^{がっこう} 学校の図書館で ^{さが} 探して読んでみてください。

保護者の方へ

自宅で読書を楽しんでもらうために、市立図書館でおすすめする本のリストを作成しました。

読書は楽しいことですが、子どもが自分で読むことができるようになるには、大人の手助けが必要です。低学年のお子さん、自分で読むことが苦手なお子さんには、ぜひ読んであげてください。

読書は、心を豊かにするだけでなく、想像力を育て、学習の基礎となる読解力も育てます。この機会に楽しい読書を習慣にしませんか。

「アイスクリームでかんぱい」

ぼくは、るすばんをしてもらったおだちんで、アイスクリームをかいに行きました。でも、どのおみせにいてもアイスはありません。おみせの人は、「ライオンがアイスをたべるゆめをみた！」といいます。まちじゅうのアイスをたべたはんにんは、ライオンなのでしょうか？

いとう ひろし／さく 徳間書店



「いぬうえくんがやってきた」

いぬうえくん と くまざわくん1

ひとりでくらしていたくまの「くまざわくん」のいえに、いぬの「いぬうえくん」が ^{いっしょ} にすむことになりました。せいかくも ^{とくい} ないことも ^{ちがう} ふたりは、ある日けんかをしてしまい……。ともだちっていいなあとおもえる本です。

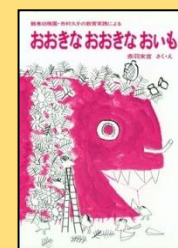
きたやま ようこ／作 あかね書房



「おおきなおおきなおいも」

みんながたのしみにしていた イモほりえんそくが、あめで1しゅうかん ^{のびて} しまいました。1しゅうかんのあいだに、おイモはどれくらい大きくなっているのかな？すごく大きくなったおイモは、どうやってはこぶのかな？ヘリコプターではこぶ？みんなのそうぞうはふくらみます。

赤羽 末吉／さく え 福音館書店



「きいろいばけつ」

きつねの子がきいろいバケツを見つけました。もちぬしはわかりません。きつねの子は、まえからきいろいバケツがほしかったので、このバケツをととても気に入りました。7日まって、もちぬしがでてこなければ ^{バケツ} をもらうことにきめて、きつねの子は1日1日をバケツといっしょにすごします。心があたたかくなるおはなしです。

もりやま みやこ／作 つちだ よしはる／絵 あかね書房



「はじめてのキャンプ」

なほちゃんは、大きい子どもたちにまじって、キャンプにでかけます。おもいにもつをはこんだり、ごはんをたくためのまきをあつめたり、なほちゃんは大きい子にまけないようがんばります。でもひとりでトイレに行くのはこわくて・・・。

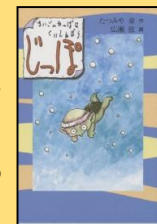
林 明子／さく・え 福音館書店



「じっぽ まいごのかっぱはくいしんぼう」

たいふうが来たつぎの日、たろうがゴミの山でみつけたのは、カップパの子どもでした。たろうはカップパに「じっぽ」と名まえをつけてかうことにしました。ある日がっこうにじっぽをつれていくと、きょうとう先生にみつかってしまいます。先生が、だいがくの先生にでんわをして、じっぽは「かいぼう」されることになってしまいました。

たつみや 章／作 広瀬 弦／画 あかね書房



「ペンギンたんけんたい」

たいちょう、ふくたいちょう、ふくふくたいちょうと47ひきのたいいんからなる「ペンギンたんけんたい」は、あるしまにじょうりくします。そしてライオンやニシキヘビ、ワニなどきけんなどうぶつたちにであいながらも、「エンヤラ・ドッコイ」とつきすすんでいきます。かれらがしまにきたもくてきとは！？

齊藤 洋／作 高畠 純／絵 講談社



「ジュディ・モードはごきげんななめ」

しゅじんこうのジュディは、げんきなアメリカ人の女の子です。しんがっきのあさ、ジュディはごきげんななめでした。りゆうは、なつ休みのあいだ どこにもいけなかったから。でも、しゅくだいの「あたらしいクラスメイトに、じぶんをしょうかいするこうさく（コラージュ）」をつくることにむちゅうになります。

メーガン マクドナルド／作 ビーター レイノルズ／絵 宮坂 宏美／訳 小峰書店



「かめきちのおまかせ自由研究（じゅうけんきゅう）」

かめきちは、ともだちのしんごといっしょに夏休みの自由研究をしました。でもその研究は友だちのアイデアをぬすんだものでした。「これではいけない！」と、夏休みさいごの日に2人は自由研究をやりなおします。さあ、2人が考えた自由研究は何でしょう？そして自由研究はできあがるのでしょうか？

村上 しいこ／作 長谷川 義史／絵 岩崎書店



「トム・ソーヤーの冒険」

べんきょうがきらいでいたずらが好きなトムと、しんゆうのハックルベリーが大ぼうけんをするものがたりです。アメリカのミシシッピ川の大しぜんの中、のびのびとあそぶかれんですが、あるとき、さつ人げんばをもくげきしてしまいます。さあ、トムとハックルベリーはどうなるのでしょうか？

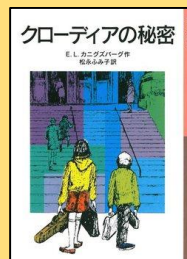
マーク トウェイン／作 石井 桃子／訳 岩波書店



「クローディアの秘密（ひみつ）」

ぶたいはアメリカ。11さいのクローディアは、おとうといっしょに“いえで”をすることにしました。ねるばしょは、メトロポリタンびじゅつかんです。けいびいんに見つからないようかくれてせいかつをするうちに、クローディアは、あるひみつにきづきます。

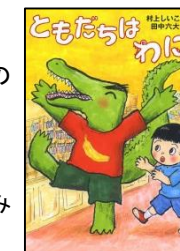
E.L. カニグズバーク／作 松永 ふみ子／訳 岩波書店



「ともだちはわに」

しのぶくんのともだちのきよくんはワニです。かすみちゃんのたんじょうびプレゼントをかいにいったおみせで、きよくんはつぽをわってしまいました。でもきよくんはあやまりません。なぜ、きよくんはえらそうなたいどなのでしょう？そしてかすみちゃんのプレゼントをぶじかうことができるのでしょうか？

村上 しいこ／作 田中 六大／絵 WAVE 出版



「おとうさん おはなしして」

あめのひ、ルルくんはおとうさんにおねがいをします。「おはなしをして!」と。おとうさんは、ルルくんみたいなおとこのこがしゅじんこうの、ヘンテコリンなおはなしをつくって しかせます。みなさんも、かぞくに「おはなしして!」っておねがいしてみませんか? たのしいおはなしが、きけるかもしれませんよ。

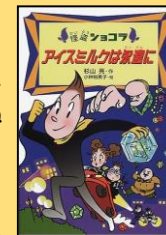
佐野 洋子/作 絵 理論社



「怪盗(かいとう) ショコラ アイスマルクは永遠(えいえん) に」

怪盗ショコラシリーズの1作目です。まちのケーキ屋さんではたらく3人にはべつのかおがありました。じつは、どんなものでもぬすんでみせるどろぼうチームなのです。わるものにぬすまれたほうせき「アイスマルク」をうばいかえすため、しゅじんこうのショコラは、かんべきなけいかくをたてます。さあ、アイスマルクはぶじかえってくるのでしょうか?!

杉山 亮/作 小林 裕美子/絵 あかね書房



「番(ばん) ねずみのヤカちゃん」

ヤカちゃんとはとてもこえの大きなねずみの子どもです。かぞくといっしょに、にんげんのいえにこっそりすんでいるのですが、ヤカちゃんの大きなこえのせいで、にんげんにきづかれてしまいます。そんなとき、いえにどろぼうがはいてきました。さあ、ヤカちゃんはどうするのでしょうか?!

リチャード ウィルバー/さく 松岡 享子/やく 大社 玲子/え 福音館書店



「マチルダは小さな大天才(だいてんさい)」

マチルダは、4さいでおとなの本をよめるようになった大天才です。でもりょうしんには「ばか」といわれ、がっこうのこうちょうにはいじめられます。マチルダは ちえ とふしぎな力をつかって、しかえしをすることに……。つうかいな(スカッとする)ものがたりです。

ロアルド ダール/著 ケンティン ブレイク/絵 宮下 嶺夫/訳 評論社



「ぼくはアフリカにすむキリンといひます」

アフリカにすむたいくつなキリンが、はじめててがみをかきました。そのてがみを、「ちへいせんのむこうでさいしょにあったどうぶつにわたして」と、はいたついのペリカンにたのみました。てがみをうけとったのはペンギンです。おたがいのすがたかたちをしらない2人のヘンテコなぶんづがはじまります。

岩佐 めぐみ/作 高畠 純/絵 偕成社



「ふしぎな木の実の料理法 <こそあどの森の物語>」

うちきなしょうねんスキッパーのもとに、「ポアポア」というなぞの 木のみ がとどきます。でも、りょうりほうをかいたメモは水にぬれてよめません。スキッパーは、りょうりほうをするため、いままで はなしたことのなかったもりの人たちに、こえをかけることになりました……。

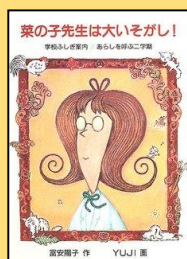
岡田 淳/作 理論社



「葉(な) の子先生は大いそがし!」

葉の子先生は、がっこうでふしぎなできごとがおこるとやってくるなぞの先生です。こんかいは、うんどうかいやクリスマスにおこったヘンテコリンなできごとを、葉の子先生がふしぎな力でかいけつします。みんなもよくしっているむかしばなしもたくさん出てきますよ!

富安陽子/作 YUJI/画 福音館書店



「ルドルフとイッパイアッテナ」

ある日ひょんなことから、かいぬしと とおくはなれ とうきょうにやってきたネコ「ルドルフ」。そこでであった あたまのいいネコ「イッパイアッテナ」から、もじのかきかたや、にんげんとのつきあいかたについてまなびます。ハラハラドキドキしてつづきをもっとよみたくなるおはなしです。

斉藤 洋/作 杉浦 範茂/絵 講談社



「きえた犬のえ くぼくはめいたんてい①」

なかよしのおんなの子アニーがかみにかいた、きいろい いぬがいなくなっていました。めいたんていのネートはさっそくじけんのそうさにとりかかります。さいご、じけんのなぞがとけたときは、すっきりすることまちがいなしのものがたりです。

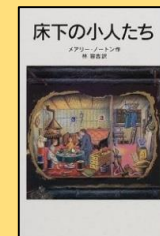
マージョリー W シャーマット／ぶん マーク シマント／え 光吉 夏弥／やく 大日本図書



「床下の小人たち」

えいが「かりぐらしのアリエッティ」のもとになったおはなしです。イギリスの ふるいいえの ゆかしたにすむ こびとのかぞくが しゅじんこうです。このかぞくは、にんげんからいろいろなものを「かりて」、こっそりとくらしています。ところがあるひ、そのいえにすむ子どもに、すがたをみられてしまいます。さあ、かれらはどうなるのでしょうか？

メアリー ノートン／作 林 容吉／訳 岩波書店



「ふたりのロッテ」

ルイズとロッテは、りょうしんの りこんで、おたがいのことをしらずに、べつべつにそだった ふたりのおんなの子です。なつのりんかんがっこう（がっしゅく）で、ぐうぜんであったふたりは、おとうさんとおかあさんを なかなかりさせるけいかくをたてますが・・・。

エーリヒ・ケストナー／さく 池田 香代子／訳 岩波書店



「霧（きり）のむこうのふしぎな町（まち）」

小学6年生のリナは夏休みを「霧の谷（たに）の町」にすむ いじわるなピコットばあさんのところで、すごすことになりました。ばあさんは「はたらかざる者（もの）、食うべからず」といって、リナを町のいろいろなお店ではたらかせます。お店であう人たちはみんなかわりもの。じつは、町にすむ人はまほうつかいのしそんでした。リナのふしぎな夏休みのおはなしです。

柏葉 幸子／作 杉田 比呂美／絵 講談社



「エーミールと探偵（たんてい）たち」

ぶたいはドイツ。しょうねんエーミールは、電車にのって、おばあちゃんのうちへとむかいます。でもそのとちゅう、おかあさんからあずかった たいせつなお金をとられてしまいました。さあたいへん！ エーミールは、じもとのしょうねんたちのちからをかりて、お金をとりかえそうとします。ドキドキするものがたりです。

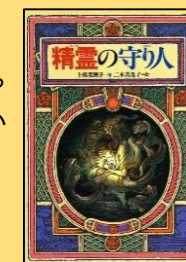
エーリヒ・ケストナー／作 池田 香代子／訳 岩波書店



「精霊の守り人（せいれいのもりびと）」

ある王国の王子のからだに せいれいのタマゴがうみつけれました。タマゴをねらうてきや、王子をけそうとする王さまから 王子をまもるため、女せんしバルサはたたかいます！ ファンタジーのせかいに どっぷりはまることのできるものがたりです。

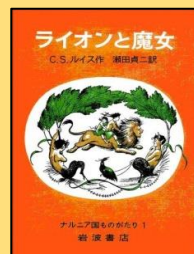
上橋 菜穂子／作 二木 真希子／絵 偕成社



「ライオンと魔女くナルニア国ものがたり1」

4人のきょうだいが、ふるいやしきのようふくダンスをぬけると、そこはナルニア国（こく）でした。どうぶつやせいれいたちがくらすこのくには、いまは、わるいまじよのせいで、きせつがずっとふゆのままです。きょうだいはこのくにをすくうためまじよとたいけつします。

C. S. ルイス／作 瀬田 貞二／訳 ポーリン ペインズ／絵 岩波書店



「イギリスとアイルランドの昔話」

イギリスのむかし話をあつめた本です。30のおもしろい話、こわい話、ふしぎな話が入っています。「もくじ」で、気になったお話からよんでみましょう。いちばんめの「ちいちゃい、ちいちゃい」は、おばあさんが、おはかでほねをひろい、お家にもってかえるお話。さて、おばあさんはどうなるのでしょうか。

石井 桃子／編 訳 J. D. バトン／画 福音館書店

